

形式名詞関連 テキスト論文&設問リスト [2011年度後期]

● 総論

[設問 1]

一般的に「ことにする」が主体の意志に基づく「決意」を表すのに対して、「ことになる」は主体の意志に関わらない「決定」を表すと考えられます。しかし、結婚の報告をする場合には、当人の意志で決めたことであるにもかかわらず「今度結婚することになりました」という言い方をします。それはどうしてか、あなたなりの理由説明をしてください。

● 「もの」

- ① 高市和久 (1991): 「述語での「もの」の用法」, 『日本文芸論集』 23, 24, 山梨英和短期大学日本文学会, pp.195-216.

[論文①についての設問 2] 2011/10/07(金)

本論文の形容詞句をうけた「ものだ」(pp.204-206 (3))についての議論の中に、「この条件のもとで名詞述語文がはたす役割は何か。」(p.206, ll.1-2)という問題提起がありますが、筆者はそれに対する明確な解答を与えていません。この論文の趣旨に即して、考えられる解答を書いてください。

[論文①についての設問 3]

「四 形式的な単語と組みあわさった助動詞的用法」(pp.211-216)には、「もの」を含む成句的な表現が 8 種類((1)~(8))掲げられています。これらのうちから一つを選んで、具体例に即してあなたなりのコメントをしてください。問題点を指摘しても構いませんし、用例を加えてご自分で内容を発展させても構いません。

- ② 揚妻祐樹 (1990): 「形式的用法の「もの」の構文と意味—〈解説〉の「ものだ」の場合—」, 『国語学研究』 30, 東北大学文学部, pp.82-94.

[論文②についての設問 4] 2011/10/21(金)

p.85 の(11)および(11')と、(15 a)および(15 b)は類似した状況を描いた文ですが、「のだ」と「ものだ」に関わる容認度に違いが見られます。この両者の意味的な違いは何か、答えてください。

[論文②についての設問 5]

「三— 〈状況解説〉の「ものだ」の構文的性格」(pp.84-86)の中で、筆者の議論が問題を含む、あるいは不明瞭であると感じる箇所があれば、その箇所を指摘してください。

- ③ 揚妻祐樹 (1992): 「体言的素材性カテゴリーとしての「もの」」, 『東北大学文学部日本語学科論集』2, pp.1-11.

[論文③についての設問 6] 2011/11/04(金)

p.4 で筆者は「もの」が指示詞によって限定されにくいと述べていますが、「そのもの」という表現は全く使われないわけではありません。「そのもの」の用例をいくつか掲げて、どのような場合に使われるかを答えてください。

[論文③についての設問 7]

この論文のタイトルは「体言的素材性カテゴリーとしての『もの』」ですが、本文中に「素材」という言葉がはじめて現れるのは、p.6 の例文 17 の 2 行下の「素材概念」という箇所です。このことを一つの手掛かりとして、この論文で筆者がどのような意図で「素材」という言葉を用いているのかについて、あなた自身の考えを自由に述べてください。

● 「こと」

- ④ 姫野昌子 (2000): 「形式名詞「こと」の複合辞的用法—助詞的用法と助動詞的用法をめぐって—」, 東京外語大『留学生日本語教育センター論集』26, pp.17-31.

[論文④についての設問 8] 2011/11/18(金)

p.18 の a 1 と b 1、および a 3 と b 3 はいずれも自然な文として掲げられていますが、それぞれの「しなければ」の例文と「しないことには」の例文にはどのような意味合いの違いが感じられますか。あなた自身の言葉で述べてください。

[論文④についての設問 9]

pp.20-21 の 1-2-1 で論じられている「～ことは～(が)」の類義表現と考えられるものに、「～と言えば～(が)」があります。

例: 若いことは若い(が)／若いと言えば若い(が) 静かなことは静かだ(が)／静かと言えば静かだ(が)

この二つの表現の意味、用法の違いについて、両者が交換不可能な例を掲げながら、なるべく具体的に述べてください。

[論文④についての設問 10]

p.26 の「～することだ」と「～のだ」との違いについての記述を参照して、次の二つの文の違いをあなた自身の言葉で説明してください。その際には、それぞれどんな場面が

想定できるか、また、どんな発話の文が補えるか、否定の形はどうかについても言及してください。

- (1) 早く寝るんですよ。
- (2) 早く寝ることです。

⑤ 野田春美 (1995):「モノダとコトダとノダ—名詞性の助動詞の当為的な用法—」, 『日本語類義表現の文法(上)単文編』くろしお出版, pp.253-262.

[論文⑤についての設問 11] 2011/12/09(金)

p.257 で論じられている「モノダが聞き手に行為の実行を促すときのプロセス」について、(21)~(25)に即して、なるべく批判的な検討を試みてください。

[論文⑤についての設問 12]

p.261 の(48)、(49)のように、漢語サ変動詞で「漢語+スルコト」と「漢語+ノコト」の両方の形を取り得るものを、「施錠する」以外に探して例文とともに示してください。

[論文⑤についての設問 13]

p.262 に述べられているようにモノダとコトダにはいずれも感嘆やあきれをあらわす用法があります。この両者の使い分けについて、(51)、(52)および次の例文を参考にして説明してください。

- a. 赤ちゃんって可愛いもの(×こと)だねえ。
- b. 鎌倉の大仏って、大きいもの(×こと)だなあ。
- c. この赤ちゃんの可愛いこと(×もの)。
- d. どんなにあなたのことを心配したこと(×もの)だろう。

⑥ 工藤真由美 (1985):「ノ、コトの使い分けと動詞の種類」, 『国文学 解釈と鑑賞』50-3, pp.45-52.

[論文⑥についての設問 14] 2012/01/13(金)

「聞く」という動詞は、この論文の分類において「ノ」をとるもの((i)感覚動詞(p.46 上段))と「コト」をとるもの((ii)伝達動詞(p.47 上段))の両方に含まれています。このそれぞれについて例文を示してください。

[論文⑥についての設問 15]

この論文の全ての例文の中で、「ノ」と「コト」に関する容認度の判断にあなたが疑問を持たれるものがあれば、指摘してください。

[論文⑥についての設問 16]

この論文には「ノ」と「コト」が作る名詞句が動詞の補文になる場合しか論じられていませんが、次の例文のように主語になる場合にはこの両者にどのような意味合いの違いが感じられるでしょうか。あなた自身の言葉で述べてください。

知らない街を歩く の／こと は楽しい。

- ⑦ 橋本 修 (1990) : 「補文標識「の」「こと」の分布に関わる意味規則」, 『国語学』 163, pp.101-112.

● 「ところ」

- ⑧ 青木三郎 (2000) : 「〈ところ〉の文法化」, 青木・竹沢編『空間表現と文法』, くろしお出版, pp.77-103.

[論文⑧についての設問 17]

「1.1 〈ところ〉と〈場所〉」(pp.79-84)に掲げられているようなもの以外で、〈ところ〉と〈場所〉の置き換えが不可能な例(通常〈ところ〉と〈場所〉のいずれか一方しか用いられない例)を考えてください。ただし、〈ところ〉については名詞的用法に限定します。

[論文⑧についての設問 18]

「1.3 部分の特定化」(pp.85-88)における筆者の議論に疑問を感じられる箇所や、改良の余地があると思われる箇所があれば、その箇所を指摘してください。

[論文⑧についての設問 19]

「3.1 ずれと調整：時間的調整と事態認識の調整」(pp.93-96)の中で、筆者の議論が問題を含むと思われる箇所があれば、その箇所を指摘してください。

- ⑨ 楠本徹也 (2000) : 「トコロの意味と機能に関する一考察」, 東京外語大『留学生日本語教育センター論集』 26, pp.77-87.

[論文⑨についての設問 20]

pp.80-81 で V トコロダの文が用いられる前提として、「事態成立(または完了)との時間的近接関係」ということが述べられています。この個所について、(6)、(7)に即して、なるべく批判的な検討を試みてください。

[論文⑨についての設問 21]

p.84 の(17)のような「～たところが、～」の形の文と「～が／～けれども、～」の形の文にはどのような意味合いの違いが感じられますか。次の例文も参考にして、あなた自身の言葉で述べてください。

- a. お金を払おうと思ったところが、財布が見あたらなかった。
- b. お金を払おうと思ったが／けれども、財布が見あたらなかった。

[論文⑨についての設問 22]

この論文の全ての例文の中で、提示や分析の仕方にあなたが疑問を持たれるものがあれば、指摘してください。

● 「はず」

- ⑩ 松木正恵 (1994): 「「～はずだった」と「～はずがない」—過去形・否定形と話者の視点—」, 『早稲田大学教育学部 学術研究 (国語・国文学編)』 42, pp.1-14.

● 「わけ」

- ⑪ 劉 向東 (1996): 「「わけだ」文に関する一考察」, 『日本語教育』 88, 日本語教育学会, pp.48-60.